

# 議会映像を「スマートフォン・タブレット」でも視聴できます。

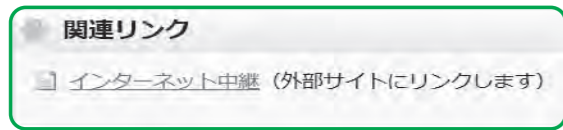


アクセス方法は2種類あります

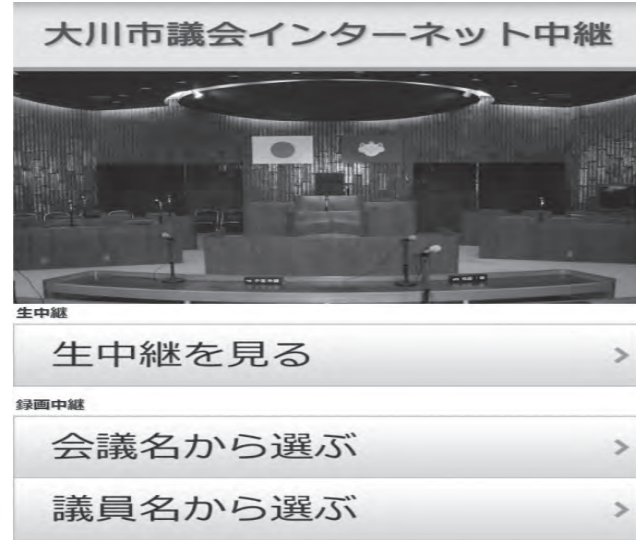
大川市HPの「市議会」バナーを押す。



市議会HP下部の「インターネット中継」を押す。



大川市議会「インターネット中継」から視聴できます。



※「生中継」は議会日のみ視聴可能になります。

QRコードを読み取ると、映像配信を簡単にご覧いただくことができます。

QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

## 議会を傍聴しませんか！

次の市議会定例会は、開会日を 6月17日(月)に、一般質問を 6月20日(木)、21日(金)に予定しています。みなさまの傍聴をお待ちしております。

なお、議会の日程は変更になることもありますので、詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。(TEL 85-5622 直通)

委員会審査も委員長の許可を得て傍聴できます。



大川市の「働き方改革」への取り組み状況について  
公共施設の有効活用について  
岡 秀昭 議員

**問** 市の「働き方改革」についてどのように取り組んでいるか。

**答** 具体的には、定時退庁日の実施、夏季休暇の計画的取得促進と職場内での共有化、全職員のストレスチェックの実施や長時間労働者の産業医の面談、業務量に応じた職員の配置や事務作業のシステム化、人材育成・意識改革等に取り組んでおり、31年度は、子育て支援休暇の充実や目標管理を取り入れた新たな人事評価制度の導入を予定しています。教職員については、文部科学省からの学校における働き方改革に関する緊急対策を受けて策定された、福岡県教育委員会の取組指針を踏まえた取り組みを行っており、31年度は、タイムレコーダー等の導入による勤務時間の適正な把握、部活動指導員の配置、コミュニティ・スクール導入等を予定しています。

**要望** 部活動指導員に関しては、各種競技団体との連携で、競技団体の活性化につながるような取り組みを図ることも検討してほしい。

**問** 幡保配水場の管理棟の会議室等はほとんど使われていないが、どのように考えているのか。

**答** 当初、幡保配水場の管理棟に水道課が移転することを想定していましたが、上下水道課への組織変更や本庁舎での窓口業務が必要であること、また、セキュリティ面での国の厳しい規制等もあり、移転せずに現在に至っています。

**問** 施設の有効活用で、例えば、庁舎の余剰空間にコンビニ等を誘致し、施設の維持経費等を稼ぐといった発想も必要ではないか。

**答** コンビニ誘致を検討した経緯はありません。ご指摘のような視点は大事であり、その発想は今後も持ち続けたいと思っています。



歴史から見た大川市と災害対策について  
龍 誠一 議員

**問** 危険箇所を知るために、確認しやすいハザードマップの作成は、

**答** 26年度に洪水ハザードマップを作成して全世帯に配布し、市のホームページにも掲載しています。

**問** 行政は万能ではないと考えている。市内の各地域で自主防災組織が設立されているが、現在、幾つの組織ができていて、市全体の何%に値するのか。また、未設立団体数は。

**答** 昨年12月末現在の設立団体数は60団体で、世帯数から見た組織率は76%です。未設立の地域は、行政区単位では11団体あり、合併前の旧行政区でカウントすると18団体です。

**問** 地域の方々から何をすべきか解らないと質問を受けるが、今後はどういう指導を考えているのか。

**答** 市では平日夜間や土曜、日曜日等に、地域の公民館に職員を派

遣して防災講習会を開催し、自主防災組織の概要や防災に関する基礎的な知識、事前の準備品、災害時の行動等の説明を行い、地域の防災力向上を図っています。また防災講習会を積極的に活用され、自主防災組織の役割について理解を深めていただきたいと思います。

**問** 地域で避難の仕方が違うと考える。災害時、誰が何をすべきか行動把握が必要と思うがいかがか。

**答** 自主防災組織には避難誘導班や情報伝達班等を作っていたいただいいますが、講習会や訓練等を通じて、危険箇所の確認、災害時の行動確認をしていただく事が大切だと考えています。また、避難行動要支援者に関する情報を把握し、避難支援を迅速かつ的確に行うため、個別避難支援計画書の作成に取り組みしており、地域のご協力を得ながら策定を進めています。